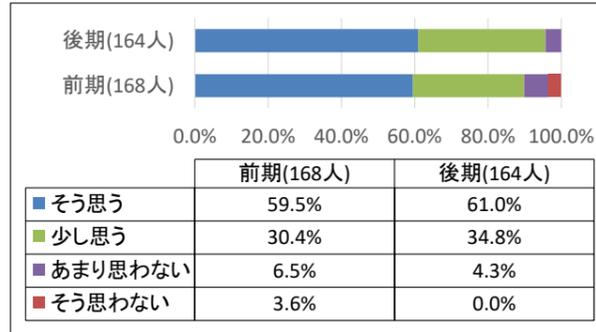


# 令和7年度 後期 学校評価

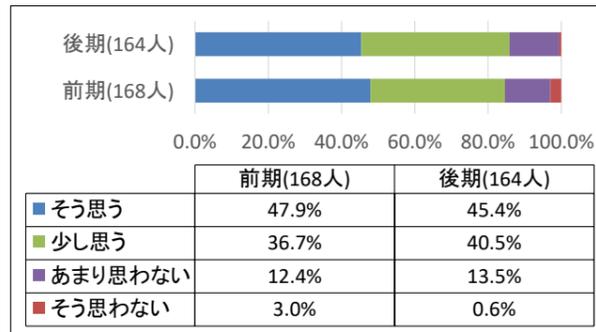
2026年2月

## 【子どもアンケートまとめ】

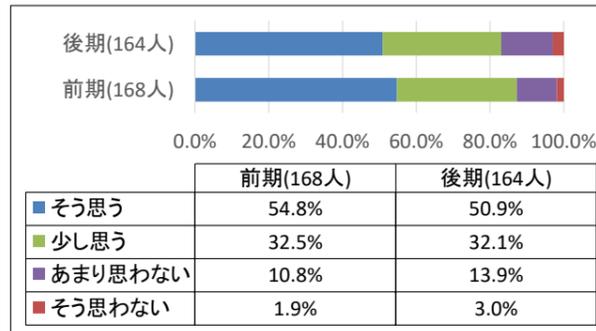
① 学校での勉強がわかる。



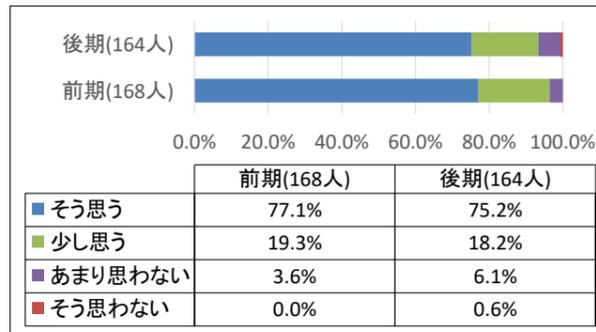
② 授業で自分の考えをもって、話し合うことができた。



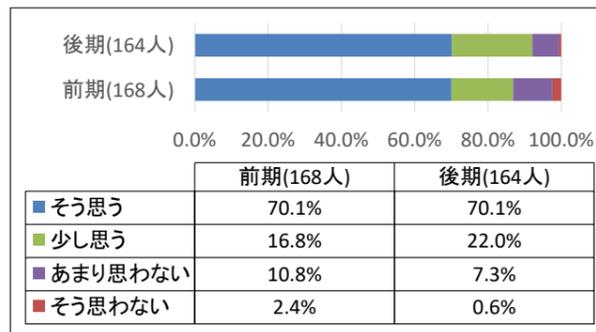
③ 本を読んでいる。



④ 宿題に取り組んでいる。

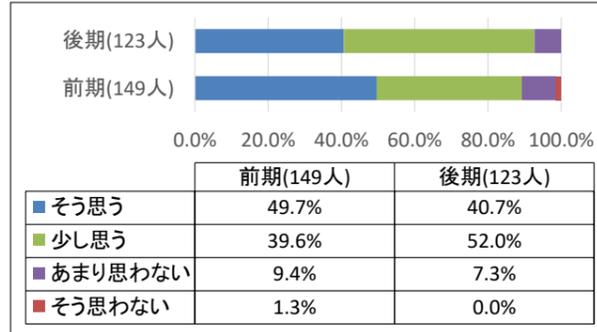


⑤ 外遊びや運動が好きである。

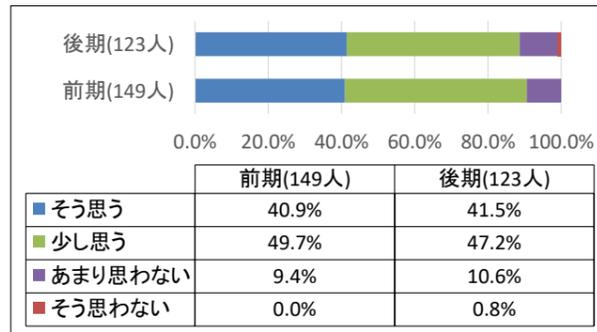


## 【保護者アンケートまとめ】

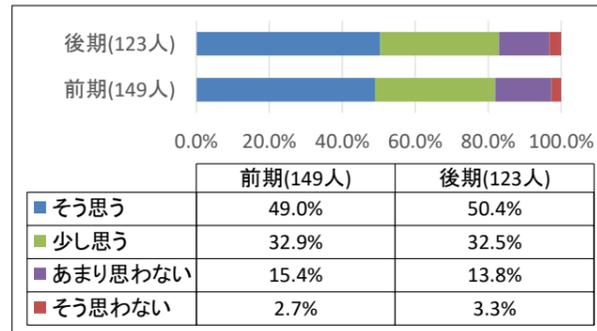
① お子さんは、学校での授業内容を理解しているようだ。



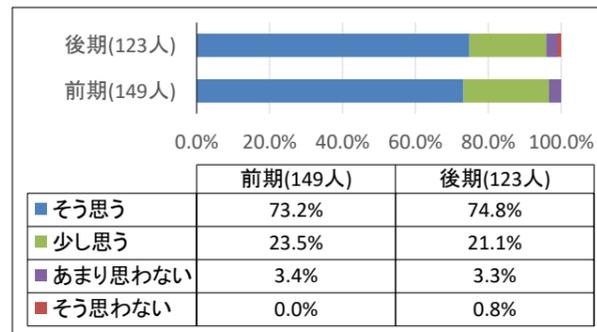
② お子さんは、日ごろから自分の考えや思いを伝えることができている。



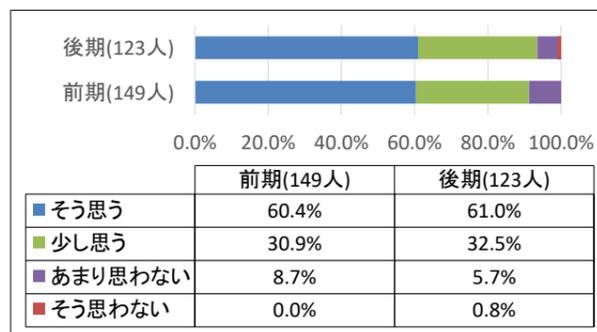
③ 保護者は、「親子読書」に取り組んでいる。



④ お子さんは、毎日宿題など家庭学習をしている。



⑤ お子さんは、外遊びや運動に日常的に取り組んでいる。



## 【考察】数字は「できた」「まあまあできた」を合わせた数

	前期	後期	比較
児童	89.9%	95.7%	+5.9%
保護者	89.3%	92.7%	+3.4%

児童・保護者ともに前期より肯定的な評価が上がっている。特に児童と保護者の「そう思わない」が0%になったことは嬉しい評価である。「あまり思わない」も減っており、今の取り組みを深化させながら継続していきたい。

	前期	後期	比較
児童	84.6%	85.9%	+1.3%
保護者	90.6%	88.6%	-2.0%

自分の考えが言えていると認識している児童の割合が増えてはいるが、伸びはわずかであった。手を挙げていない児童の意見も大切にしていける授業改善が、今後必要になってくる。考えの反映のさせ方や挙手のしかたの工夫に取り組んでいく。ご家庭での会話によるコミュニケーションの時間を大切にいただきたい。

	前期	後期	比較
児童	87.3%	83.0%	-4.2%
保護者	81.9%	82.9%	+1.0%

前期に比べると児童の「読んでいる」が減っており85%を下回っているが、学校図書室の利用率は高く、2月現在で月1人平均15冊借りている。白杵市内の他の小学校と比べても高い読書冊数となっている。特に低学年は1日1回学級ごとに図書室に行っており、100冊以上借りている児童が多くいる。高学年になるにつれ、本よりもタブレットを好む傾向にあるので、タブレットと並行して本に興味を持たせる工夫が必要である。

	前期	後期	比較
児童	96.4%	93.3%	-3.1%
保護者	96.6%	95.9%	-0.7%

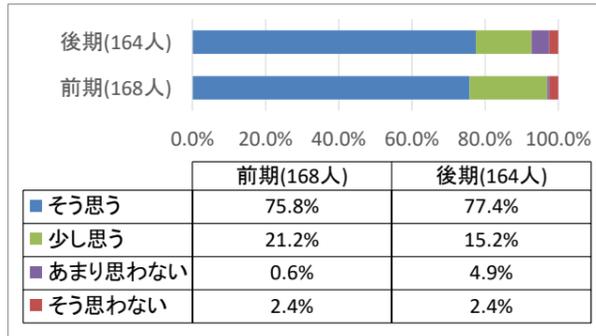
長い2学期を中心とした後期の評価は児童・保護者ともにやや下がっているが、宿題への取り組み状況は90%を超え、おおむねよい結果である。週1回のタブレット宿題が、2・3学期で定着しつつある。白杵市内では上位の学習アプリの利用率となっている。

	前期	後期	比較
児童	82.5%	83.5%	+1.0%
保護者	99.3%	95.1%	-4.2%

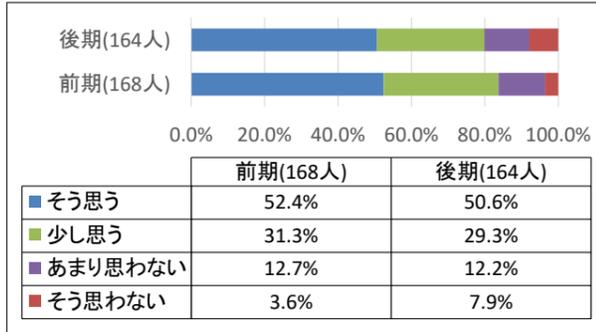
2学期は運動会練習もあり、運動に触れる時間は1学期より多かった。児童の意識は高まってきている。また、今年度体力向上プランの1校1実践として、年間を通して縄跳びに取り組んだことで、外での運動時間は昨年度よりも増加している。長縄、短縄の楽しさに触れ、休み時間に進んで取り組む姿が多くなっている。

【子どもアンケートまとめ】

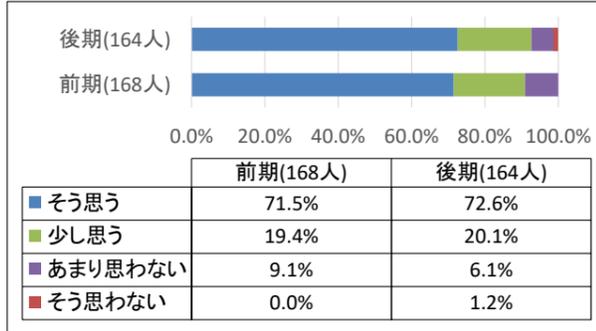
⑥ 朝ごはんを毎日食べている。



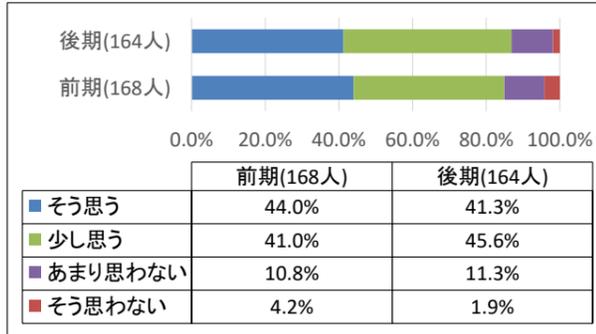
⑦ 夜9時以降はスマホやタブレットをしないという北ブロックのきまりを守ることができている。



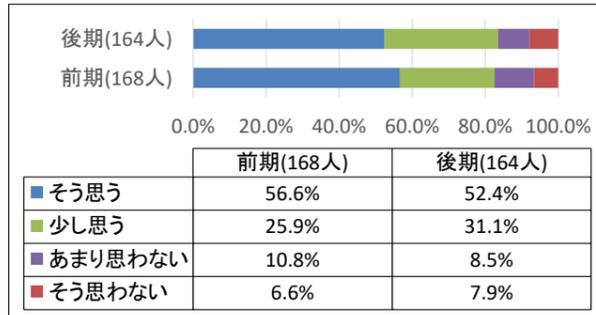
⑧ あいさつを自分から進んでいる。



⑨ 友だちの気持ちを考え、優しい言葉づかいができている。

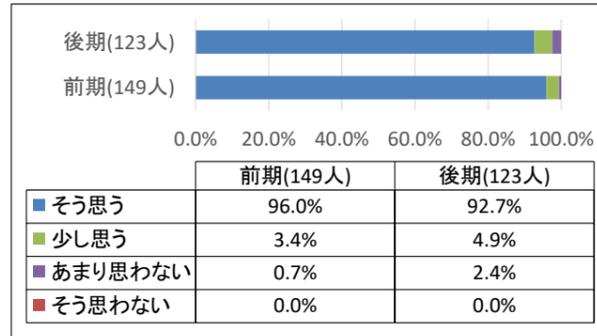


⑩ 「自分には良いところがある」と思う。

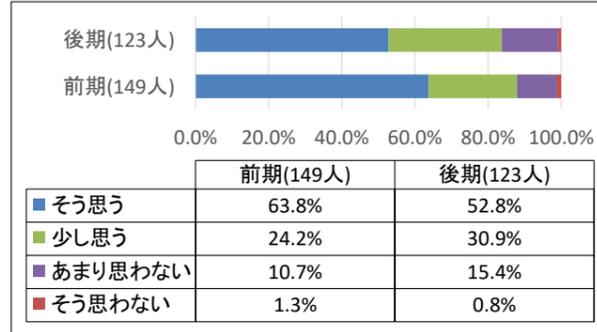


【保護者アンケートまとめ】

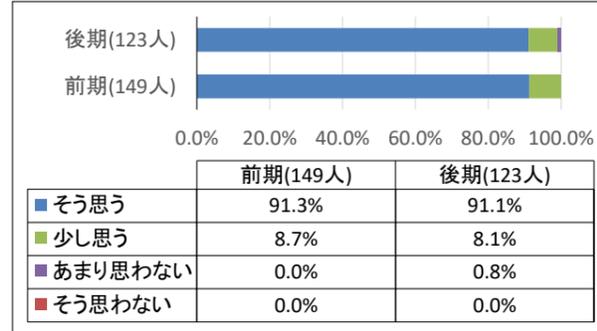
⑥ 保護者は、お子さんに朝ごはんを毎日食べさせている。



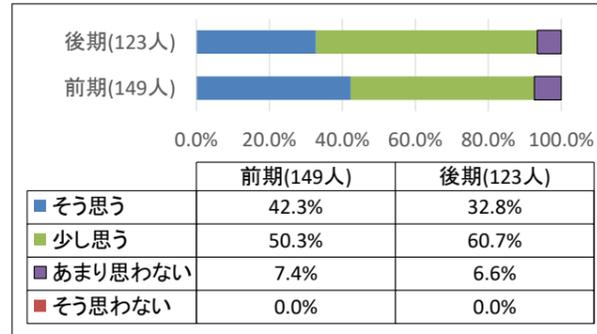
⑦ 保護者は、「夜9時以降はスマホやタブレットをしない」という北ブロックのきまりを守らせている。



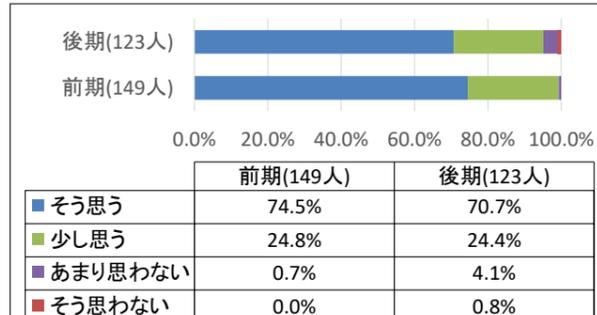
⑧ 保護者は、家庭内で「おはよう」「おやすみ」などの声掛けを積極的に行っている。



⑨ お子さんは、相手の気持ちを考え、思いやりのある言葉かけや行動ができている。



⑩ 保護者は、お子さんのキャリアノートを確認し、良さを褒める一言を書いている。



【考察】・数字は「できた」「まあまあできた」を合わせた数

	前期	後期	比較
児童	97.0%	92.7%	-4.3%
保護者	99.3%	97.6%	-1.8%

「朝ごはん」に対する意識が、児童・保護者ともに低くなっている点が気になる。養護教諭を中心に、担任と連携して児童への指導を継続していく。保護者の方への啓発についても引き続き力を入れていく。⑦のスマホ・タブレットの使用時間との関連も考えていく必要がある。

	前期	後期	比較
児童	83.7%	79.9%	-3.9%
保護者	87.9%	83.7%	-4.2%

授業、保護者説明会、学級懇談会、保健だより等で啓発を続けているが、85%に届かない結果である。児童については、80%を下回り、35人ほどが守れていないという結果である。来年度も低下を続けていく恐れがあるため、児童や保護者の方へ、指導・助言の具体的な対策を考えて行く必要がある。

	前期	後期	比較
児童	90.9%	92.7%	+1.8%
保護者	100.0%	99.2%	-0.8%

年間を通して、児童の挨拶はよくできていると感じる。週1回の児童会による挨拶運動の成果である。しかし、廊下ですれ違う際や、教師以外の来校者への挨拶、学校外の地域の方への挨拶など、より1人1人が自然に挨拶をしていく習慣を身につけられるよう、指導を継続していく。ご家庭でも挨拶の声掛けを積極的に行っていただいている結果である。引き続き、家庭と学校で「きもちのよいあいさつ」について子どもたちと一緒に考えながら取り組みを進めていきたい。

	前期	前期	比較
児童	84.9%	86.9%	+1.9%
保護者	92.6%	93.4%	+0.8%

いじめにつながる項目であるので、100%を目指して指導・助言を続けてきた項目である。意識はやや高まってきているが、依然として約20名ほど守れていないと感じている児童がおり、前期から変わっていない。生活部を中心に進めている、いじめの積極的な認知とともに、その未然防止に当たる情操教育に、人権担当と連携して、力を入れていく必要がある。引き続き、家庭との連携を密にしていきたい。

	前期	前期	比較
児童	82.5%	83.5%	+1.0%
保護者	99.3%	95.1%	-4.2%

児童の「あまり…」と「ない」が約26名で、前期に比べるとやや減ってきているが、やはり控えめな回答が多いように感じる。児童会主体の「いいねカード」の取り組みは、全校児童積極的に取り組んでおり、成果が出ている。年度末には、保護者の方から子どもたちへ「いいねカード」を送るように計画しているので、保護者の約6名ほどいた「思わない」の方も良さを認める機会になると考える。